

福島県における再エネ・水素分野別の取組の方向性 ～「福島県2050年カーボンニュートラル」実現に向けた産業面からのアプローチ～

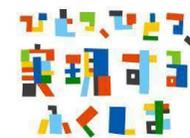


水素 編

参考資料

令和4年7月29日

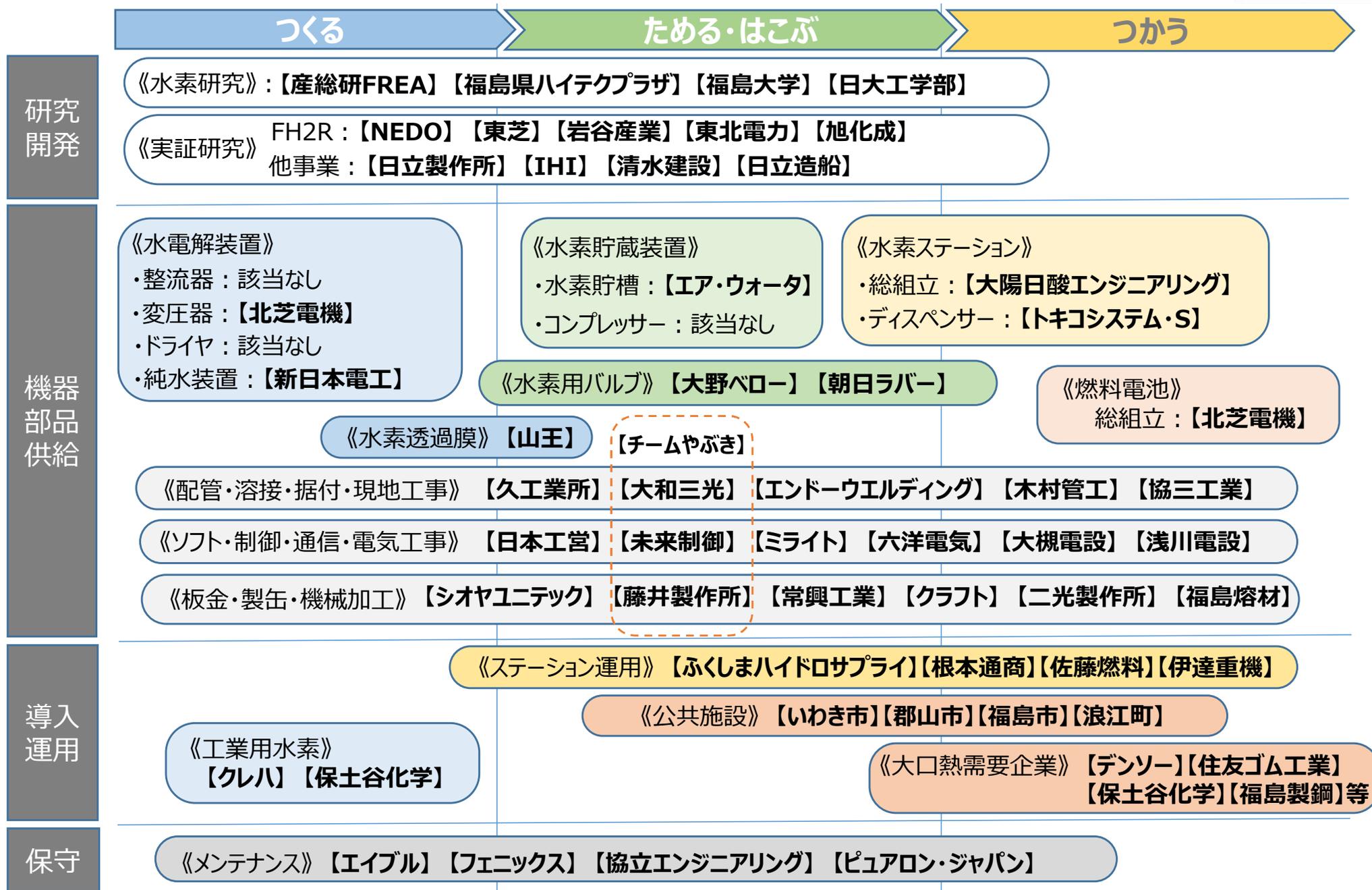
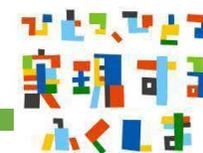
エネルギー・エージェンシー ふくしま

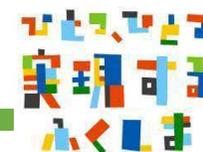


- (1) 水素の県内関連産業の主なプレイヤーリスト
- (2) 水素の県内関連産業取組のクロスSWOT分析



(1) 水素の県内関連産業の主な県内プレイヤーリスト





内部(県内)環境

◆「福島新エネ社会構想」第1フェーズで取り組んできた水素社会構築に向けた活動をベースに、今後の水素関係における外部環境として「機会」「脅威」、内部環境としての「強み」「弱み」から課題をクロス分析し、戦略を立案・策定した。

強み Strengths

- ・新エネ社会構想による国、県の支援
- ・福島水素エネルギー研究フィールド **FH2R**
- ・産総研FREAの県内立地と連携
- ・ハイテクプラザやEAFによる支援
- ・水素先進地ドイツ他欧州とのネットワーク

弱み Weaknesses

- ・県内プレーヤー(企業)が少なく水素産業創出と集積推進が急務
- ・特にコア技術を持った企業が少ない
- ・人材が育っておらず技術習得を要す
- ・現時点では水素市場は、未成熟

機会 Opportunities

- ・福島新エネ社会構想の改定(第2フェーズにおける水素の強化)
- ・県とNEDOの水素に関する協定締結
- ・世界的な脱炭素・ゼロエミッション化の機運の高まりにより、水素が脚光

積極攻勢戦略

- ・大型実証研究開発事業等への支援
- ・将来を見据えた水素発電やパイプライン構築
- ・公共施設への水素活用モデル構築、導入
- ・ビジネスモデル、**サプライチェーンの創出**支援

弱点強化戦略

- ・コア技術を持った企業の誘致
- ・潜在プレーヤーの新規参入掘り起し
- ・**水素関連企業との積極的マッチング**
- ・国内外先進モデル地域との連携
- ・市場拡大、人材育成に対する支援

外部環境

脅威 Threats

- ・グリーン水素生成に必要な再エネの量とコストで他国の後塵を拝している事
- ・他国における水素関連産業の急速な伸長
- ・ウクライナ情勢による、水素の位置付けへの劇的な影響

差別化戦略

- ・FREAとの連携による、高効率で低コストな水素製造システムの開発支援
- ・ハイテクプラザによる企業の技術開発支援
- ・知財の権利化支援

防衛戦略

- ・急速な国内外の情勢変化に応じた関連政策のタイムリーな見直し
- ・国内産業の保護育成政策の立案、推進